

2012年2月16日

保険業務に「事務ロボットシステム」を導入

株式会社損害保険ジャパン（以下「損保ジャパン」、社長：櫻田謙悟）は、お客さま対応力の一層の強化を図るため、NKSJシステムズ株式会社（社長：末廣利明）およびNKSJビジネスサービス株式会社（社長：坂井孝章）と共同で、事務作業のオートメーション化を実現する「事務ロボットシステム」を開発しました。

本日から、自賠責保険の解約事務手続きを集中対応しているバックオフィスにおいて、本システムの利用を開始しました。

1. 「事務ロボットシステム」の概要

事務ロボットシステムとは、事務担当者が通常パソコン端末上で行っている保険契約手続きなど複数工程からなる事務作業を、人を介在させずにシステムが自動的に行う仕組みです。

2. 「事務ロボットシステム」導入のメリット

自賠責保険の解約事務に本システムを導入し、解約保険料の計算から返戻手続きまでの一連の事務作業を自動的に行うことにより、ヒューマンエラーを極小化できるため「業務効率化」ならびに「業務品質の向上」を図ることができます。

3. 「事務ロボットシステム」の対象となるシステム

本システムは、HTML言語で作成されているWEBシステムであれば、システムの基本設計に依存することなく「作業の自動化」を実現できます。社内の業務システムはもとより、クラウドシステム等への連携も可能です。

4. 今後の展開

損保ジャパンでは、本システムの導入を、他の業務システムにも拡大していきます。また、クラウドシステムへの連携によって、社内のみならず代理店をユーザーとする業務へ適用することも検討しています。

損保ジャパンは、今後もお客さまから選ばれる保険会社を目指して、高品質なサービスの提供を実現していきます。

以上